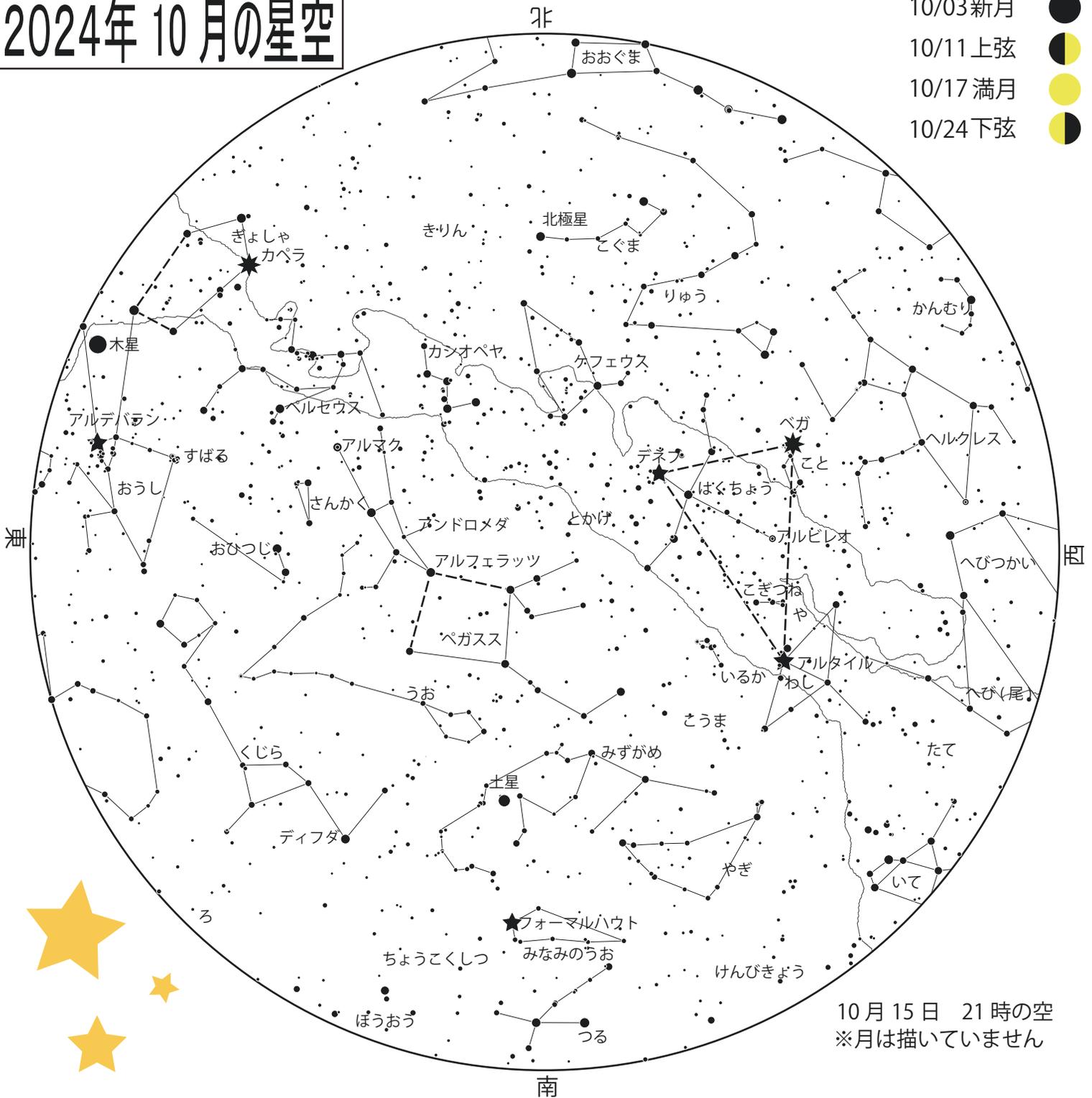


# 姫路で見る 2024年10月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。  
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。

- 10/03 新月 
- 10/11 上弦 
- 10/17 満月 
- 10/24 下弦 



10月15日 21時の空  
※月は描いていません

10月に入ると、夏に比べて日の入りはかなり早くなったように感じられます。中旬を過ぎると夏の星座は西に傾き、秋の星座が見やすくなってきます。

秋の四辺形は空高くに昇っています。**ペガスス座**がその中心で、**アンドロメダ座**、**カシオペア座**、**ケフェウス座**、**ペルセウス座**、**くじら座**など、ギリシャ神話のエチオピア王家の物語に登場する星座が取り囲んでいます。秋の四辺形の西の辺を南に伸ばすと**みなみのうお座**の一等星**フォーマルハウト**が、東の辺を南に伸ばすと**くじら座**の尻尾の星**ディフダ**が、それぞれを北に伸ばすと**北極星**などが見つかります。

日の入り後の西の低空には**金星**、南東の空には**土星**が見え、**土星**が南中する頃には**木星**が、夜遅くには**火星**が東の空に姿を現します。夜空は惑星たちで賑やかになりそうです。15日の月は十三夜で**栗名月**、17日の**満月**は2024年の中で最も地球に近い満月です。10月中旬には、**紫金山・アトラス彗星**が夕方の西の空に姿を現します。秋の澄んだ空に美しい姿を見せてくれることを期待しましょう。

長かった残暑から一転、日が沈むと寒さを感じるが増えてきました。星座巡り、惑星観察、観月や彗星ウォッチングは、暖かくしてお楽しみください。